



### 目次

● 「院長挨拶」 .....	2
● 「診療連携」 「病理部」 のご紹介 .....	3
● 「職場紹介」 看護部 .....	5
● 「新入職員紹介」 .....	7

## 院長挨拶

### —最近の医療連携に一言—



鹿児島市医師会病院  
院長 山口 淳正

会員の皆様、師走になってまいりました、如何お過ごしでしょうか。医療界は相変わらずの暗闇にあります。最近では銚子市立病院の閉院、近いところでは出水市立病院の内科医不在の問題など、明るいニュースは一つもありません。医療の安定には経済的な裏付けが必要なのですが、アメリカのリーマンブラザーズにおけるサブプライムローンの破綻に端を発する世界金融恐慌の波が、日本にも襲い掛かり円高株安の状況を作っております。おりしも自民党の総裁も麻生氏に代わり解散総選挙の時期を窺っているようです。事ほど混沌とした世界にあっても、患者さんは毎日各医療機関に来院しています。患者さんを蔑ろにして、我々は明日とは言っておれないのです。医療に経済的裏付けなしでは患者さんを引き受ける医療機関が成り立たず、今や助かる患者さんも助からないと言う状況が生まれつつあるように思われてなりません。まして少子高齢化は時を待たず進んでおります。このような時にわれわれ医療者は各々の役割を果たすべく日夜奮闘しているのですが、ただがむしゃらに奮闘しても有効的とは言えません。

現在の医療体制の中で何らかの手段が無いか

と模索すると、ここで医療連携なるツールがその有効性を発揮するよう思われてなりません。さらに今年度に入ってから市内各医療機関における病床利用率をみますと、軒並み80%を割っているようにも聞いております。このような背景において我々医療に携わるものは如何にしたら自院の経営基盤を磐石にできるかを考えなければなりません。パイに限りがあるのであれば連携と言う形で、患者さんにも安心と安全、納得、満足を与えてあげられる様な、我々医療業にも良い方法を模索しなければなりません。

そして患者さんにはたらい回しの印象を与えない何らかの方法があるはずです。そこで如何なる方策があるか関係医療機関の連携に携わる人たちが集まって、文殊の知恵宜しく知恵を絞ってみたらいかがでしょうか。連携室懇談会なるものを立ち上げ、連携室を有する医療機関で互いが資料を持ち寄りそれぞれの特徴を出して連携の強化を図らねばならないと思います。一人の患者さんを一箇所の医療機関で独占し完結する時代ではないのではないのでしょうか。今は病診、病病連携あるいは広く介護、在宅療養の世界まで連携を広げて強固にする時期ではないのでしょうか。また連携に携わる人は、こまめに患者さん或いは介護の人を扱う施設まで足を運び、医療施設介護施設在宅療養の管理者に会うだけではなく、じかに患者さんとも触れ合う必要もあろうかと思えます。

## 診療連携

### 「病理部」のご紹介



病理部  
部長 清水 健

#### はじめに

鹿児島市医師会病院病理部は昭和59年病院の開業の年に田中貞夫先生を病理部長として開設されて以来、医師会病院の病院病理業務と検査センターとしての院外医療機関からの病理・細胞診検体の診断に携わってきました。

この間、医療を取り巻く情勢の変化に伴い、院外の医療機関から依頼される病理組織検査の検体が加速度的に減少しつつあります。検査センターとしての病理の将来は極めて厳しいと言わざるを得ません。

一方、病院病理については平成20年4月1日より診療科として「病理診断科」の標榜が認められました。そして、平成20年度診療報酬改定では従来の「第3部第2節病理学的検査」は「第13部病理診断」として独立することになりました。これは病理診断の重要性が認識されたものと考えられますが、同時に一般社会に広く標榜することにより一層重い社会的責任を負うことを意味しています。

将来は病理診断についてのセカンドオピニオン外来なども必要になるかも知れませんが、病理業務の本質はあくまで検体の診断です。会員の皆様には医師会病院病理部（医師会検査センター）をご利用頂きますようお願いいたします。

#### 病理診断体制と内容

病理組織診断：常勤病理専門医（清水、高城）、非常勤病理専門医7名が病理組織診断に携わり、生検、手術材料の切り出し・診断を行っています。勿論、病理標本の作製は臨床検査技師が行っていますが、9名が病理組織班と細胞診班に分かれてそれぞれ業務を分担しています。

通常の染色だけでは診断が困難な症例については免疫組織化学などの特別な手法を用いるのが一般的になっていますが。当病理部ではより早く診断を出すために自動免疫染色装置を導入して臨床の先生方の要望に応じております。

細胞診：9名の臨床検査技師（全員、日本臨床細胞学会認定細胞検査士および国際細胞検査士の資格

を持っています）のうち細胞診班がスクリーニングを行い、陽性・偽陽性例については病理医がチェックを行っています。

術中迅速診断：医師会病院の外科および婦人科の手術例について凍結切片による組織診断をおこなっています。また、院外からの依頼も受けており、次第に増えつつあります。

剖検：医師会病院および院外の医療機関から依頼のあった場合、24時間体制で剖検を行っています。

術前・術後カンファレンス：毎週木曜日午後6時から行われるカンファレンスに病理医と検査技師が参加し、術前症例については病変の部位・進展の程度を把握し、術式を理解することによってより正確な診断を出すように努めています。また、術後報告は病理診断について肉眼と組織画像を用いた提示を行っています。

#### 実績

病理部開設以来、医師会病院内外を含めた病理組織診断および細胞診の検体はそれぞれおよそ3万件と4万件程を維持していましたが、最近になり、とくに院外からの検体が激減しています。平成19年度の病理組織診断総数は22,048件（院内は4,273件）でした。臓器別にみると、胃、大腸、食道といった消化管が多数を占め、ついで婦人科、泌尿器、肝・胆・膵がみられます。

術中迅速診断は総数886件（院外は225件）でした。

細胞診は従来と同じもしくは増加しており、総数46,070件（院内は2,462件）でした。検体種別にみると、婦人科の子宮（膣・頸部）が圧倒的に多く、泌尿器、子宮体部、呼吸器、体腔液の順です。

剖検は6件（院外は2件）でしたが、平成20年度は10月末現在既に12件に達しています。



おわりに

医療を取り巻く情勢が益々厳しくなりつつある現在、医療の質の向上の為に病理診断が重視されると自負しておりますが、少しでも病理診断を通して地域医療のために役立つために、医師会検査センターの病理検体が増えることを切に望んでやみません。会員の皆様にはどうかよろしくお願い申し上げます。

また、「病理診断についてセカンドオピニオンを訊きたいなど」ありましたら、どうぞご利用頂きますようお願いいたします。



病理組織標本内訳〔平成19年度〕

H19.4.1～H20.3.31

主要臓器別	生検		ポリープ切除		切除		迅速	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外
心臓・血管					1	137		
血液・骨髄・脾					37	214	1	
リンパ節					389	408	13	35
鼻・咽頭・喉頭	1	3		2		203		12
口腔・唾液腺		1		1		89		2
肺・気管・気管	2				55	52	13	63
胸膜・縦隔・腹膜					45	39	13	19
食道	148	520	1	7	36	17	6	3
胃	839	5,936	12	233	237	68	126	15
十二指腸・小腸	52	265	3	9	101	34	13	1
大腸・肛門	298	1,198	291	1,742	280	273	160	3
肝・胆・膵		1			404	113	147	27
腎・尿路・男性器					9	2,015	5	11
女性器		1	4	280	282	2,511	112	22
乳線					57(51)	163	45	2
内分泌					8	44	5	6
中枢・末梢神経						21		1
耳・眼						34		
皮膚				3	7	767		1
骨・関節						18		1
軟部					13	122	2	1
その他						6		
計	1,340	7,925	311	2,277	1,961	7,348	661	225
		9,265		2,588		9,309		886
								22,048

細胞診検体内訳〔平成19年度〕

H19.4.1～H20.3.31 ( ) : 院内

材料	判定	Negative		Suspicious		Positive		計
		I	II	IIIa	IIIb	IV	V	
婦人科 (膣、頸部)		21,137(898)	10,393(694)	197(18)	87(6)	47(8)	23(3)	31,884(1,627)
〃 (体部)			3,984(88)		14(3)		14(1)	4,012(92)
呼吸器			2,100(84)		74(9)		211(24)	2,385(117)
消化器			358(168)		37(21)		33(21)	428(210)
泌尿器			3,955(10)		151		178(3)	4,284(13)
体腔液			1,358(239)		31(10)		242(56)	1,631(305)
乳腺			355(2)		24		60(1)	439(3)
甲状腺			426(5)		19		34	479(5)
リンパ節			109(1)		6		32	147(1)
その他			346(85)		7(2)		28(2)	381(89)
計			44,521(2,274)		647(69)		902(119)	46,070(2,462)

病理解剖例一覧〔平成19年度〕

H19.4.1～H20.3.31

NO	年齢・性	剖検日	出所・科名	剖検診断	IA 番号
1	59M	H18.06.24	神経内科	血球貪食症候群+敗血症+出血傾向	IA07-3
2	72M	H18.11.28	外科	胃癌(胃切除術後)+急性循環不全	IA07-4
3	49M	H18.12.04	院外	多中心性キャスルマン病+日和見感染+血球貪食	IA07-5
4	47M	H18.12.30	消化器内科	肝及び消化管大量出血	IA07-6
5	87M	H19.01.04	院外	脳血管性認知症+急性循環不全	IA08-1
6	69F	H19.03.28	消化器内科	悪性細胞浸潤(悪性横紋筋肉腫様腫瘍)	IA08-2

## 職場紹介

### 「看護部」のご紹介

看護部長 大坪恵利子

#### 看護部の理念

鹿児島市医師会病院看護部は昨年度末に看護部の理念の見直しを行いました。

これまでの理念は少々硬い文章で、看護スタッフの頭や心の中に、なかなか入って行かないというようなものでした。そこで医師会病院の基本理念である「安全で質の高い誠実な医療を提供します」ということを念頭に置き、スタッフが覚えやすい理念を目指しました。その結果右のような理念ができました。

#### 看護部の理念

私たちは、4つの「S」に努め、看護を実践します。



#### 4つの「S」の意味するもの

##### 安全 Safety

わたしたちの行動すべての基本です。患者さま・ご家族が、安心できる看護を提供するための行動の規範として、常に考えていなければならないことです。看護を提供するわたしたち看護者の安全も忘れてはなりません。

質の高い看護＝安全な看護です。

##### 誠実 Sincerity

まごころのこもった真摯な態度で看護の実践をおこなうことです。患者さまを尊重し、責任ある行動をとることです。

##### 笑顔 Smile

こころのこもった笑顔で、患者さまも私たちも笑顔でいられる看護を実践することです。笑顔は患者さまの安心につながります。

##### 専門性 Specialty

専門的な技術・知識をもって看護を実践することです。知識・技術の裏づけにより根拠のある看護が実践できます。

## 教育の方針として

1. 組織の一員として自律でき、柔軟で行動力のある看護師を育成する。
2. 看護の専門性を高め、適切な判断ができる看護師を育成する。

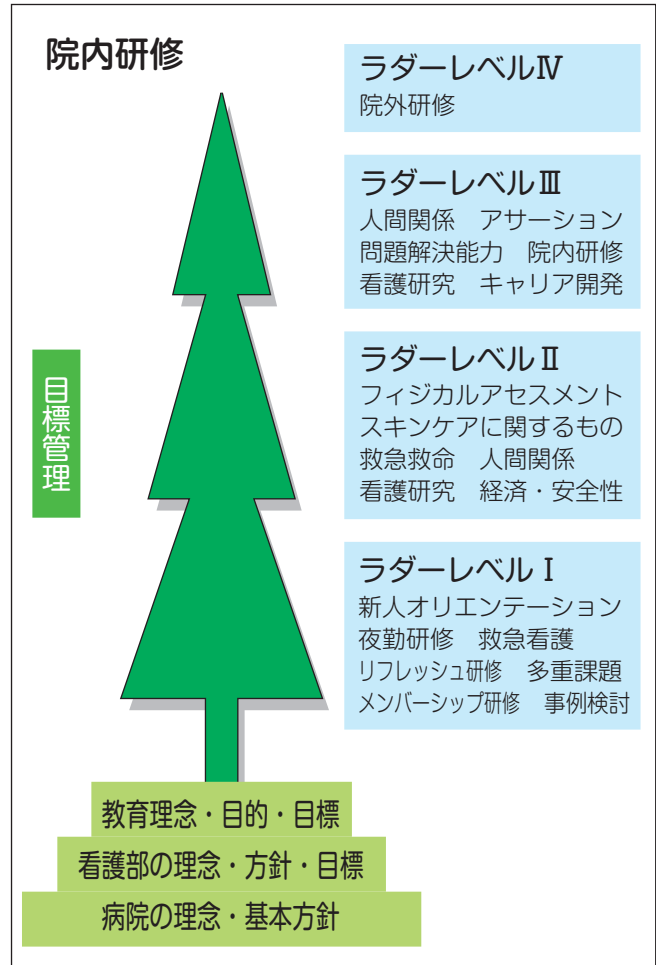
を掲げ、クリニカルラダーを取り入れた教育を実施しております。

今年度より、専門的知識・技術を習得した6名の認定看護師によるコース別研修を実施し、看護の実践に活かせる研修として多くのスタッフが参加しています。6名の認定看護師に対しては地域の病院からも講師として依頼が多く、活発にその責務を果たしております。

また地域支援病院の一環として来年2月に潜在看護師の再就業支援研修会を計画しております。

職場への復帰を少しでも容易にするために、最近の医療・看護の動向や臨床で必要とされる技術などを講義・実習で学んでいく研修です。何年もブランクがあると、日々変化している医療環境に戻っていくには抵抗があります。そんな潜在看護師の方々のための研修ですので多くの参加者があることを願っております。

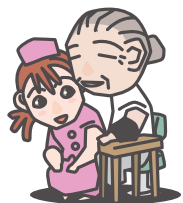
今年度、7：1入院基本料の導入により新人看護師30名を採用していただきました。半年を経て、



1人立ちできるまでに成長してきております。患者さまの声にじっくり耳を傾けられる看護ができる環境が構築できればと願っております。専門職業人としての知識・技術の習得はもちろんですが、人としての教養や品格が身につく教育もできていければと考えております。

### めざす看護師像

- 患者の**安全**に配慮した看護ができる看護師
- 笑顔**がすてきな看護師
- 誠実**な看護師
- 専門職業人**として、キャリアアップする看護師



## 新入職員（新任医師）紹介

## 循環器内科科長

&lt;プロフィール&gt;

(H 20.10. 1～)

名 前 いまむら まきかず 今村 正和

出 身 県 鹿児島県

出身大学 鹿児島大学  
(平成4年卒)

前勤務先 鹿児島市立病院

趣 味 旅行・音楽鑑賞



縁がありまして、3年ぶりにまた勤務させていただくこととなりました。頑張りたいと思いますので何卒よろしくお願い致します。

## 放射線科医長

&lt;プロフィール&gt;

(H 20. 9. 1～)

名 前 せとぐち ようき 瀬戸口 陽樹

出 身 県 鹿児島県

出身大学 鹿児島大学  
(平成15年卒)

前勤務先 南風病院

趣 味 音楽鑑賞



よろしくお祈いします。

## 外科医師

&lt;プロフィール&gt;

(H 20. 9. 1～)

名 前 かんだ ひであき 上田 英昭

出 身 県 東京都

出身大学 鹿児島大学  
(平成15年卒)前勤務先 霧島市立医師会  
医療センター

趣 味 ドライブ



いろいろと御迷惑をかけることもあるかもしれませんが、宜しくお願いします。

## 外科医師

&lt;プロフィール&gt;

(H 20.10. 1～)

名 前 まつば とちゆき 松葉 智之

出 身 県 鹿児島県

出身大学 大分大学  
(平成17年卒)

前勤務先 鹿児島市立病院

趣 味 スポーツ



無心で頑張ります。よろしくお祈いします。

## 麻酔科医師

&lt;プロフィール&gt;

(H 20.10. 1～)

名 前 ふたつき つかひろ 二木 貴弘

出 身 県 鹿児島県

出身大学 島根大学  
(平成17年卒)

前勤務先 鹿児島大学病院

趣 味 サイクリング



安全な麻酔を心がけてがんばりたいと思いますので宜しくお願い致します。

## 小児科医師

&lt;プロフィール&gt;

(H 20.10. 1～)

名 前 おおたけやま ほんな 大竹山 令奈

出 身 県 鹿児島県

出身大学 鹿児島大学  
(平成18年卒)

前勤務先 鹿児島大学病院

趣 味 映画鑑賞



まだ未熟者ですが、頑張っています。よろしくお祈いします。

## 麻酔科医師

<プロフィール>



(H 20.11. 1～)

名 前 うちだ 陽治

出 身 県 鹿児島県

出身大学 鹿児島大学  
(平成18年卒)

前勤務先 鹿児島大学

趣 味 ドライブ

平成 20 年 4 月麻酔科に入局し、11 月より鹿児島市医師会病院で、勉強させて頂いております。入局一年目で、わからないことばかりですが、少しでも多くのことを吸収しようと思っております。宜しくお願い致します。



### 【 基本理念 】

患者様の意思と権利を尊重し、会員や地域の医療ニーズに応え、安全で質の高い誠実な医療を提供します。

### 【 基本方針 】

- 1) 医療を通じて地域社会への貢献
- 2) 救急医療の推進
- 3) 専門性を追求した高度医療の実践と連携の強化
- 4) 予防医学と医療人教育

鹿児島市医師会病院 連携室だより No.11

創刊日：平成17年8月10日

発行日：平成20年12月10日 (年3回 4・8・12月発行)

発行者：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号

鹿児島市医師会病院 院長 山口 淳正

担 当：医療支援部 医療連携室

T E L：099-254-1125 (代表)

T E L：099-254-1121 (連携室直通)

F A X：099-254-1308 (連携室直通)

ホームページ：<http://city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp>

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。